

NARUSE TIMES

No.9 2学期最終号

東京都立成瀬高等学校 校長通信

他者の視点に立って物事を複眼的に捉える態度や習慣を養うことの大切さ



校長 高野 修一

12月に入り新型コロナに代わりインフルエンザが流行っています。そこで今回は「日常と非日常」・「平時と非常時」の判断や行動を左右する心の働きについて考えてみたいと思います。

人には、非常時にも平常時の判断基準をもとに考え行動する傾向があり、これを「正常性バイアス」と呼びます。もう少し説明すると「正常性バイアス」とは、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価してしまう特性のことで、インフルエンザについても、「自分は感染しないし、他人に感染させることもない。それにもしかかっても軽症で済むだろう。」と考えがちだということです。そして、そうした考えを多くの人が持ち行動している結果として、インフルエンザなどの感染症も拡大していくということです。

では、この「正常性バイアス」を働かせないようにするにはどうすればいいのでしょうか。このことについて、思想家の内田樹氏は「正常性バイアス」を

解除するためには、自分が見ているものだけから今何が起きているのかを判断せず、複数の視点から寄せられる情報を総合して判断することが大切であり、そのためにも普段から自分自身の個人的な感覚や主観にこだわりすぎることなく、他者の視点に立って物事を複眼的に捉える知的な態度や習慣を養うことが大切である。」と述べています。

この、「他者の視点に立って物事を複眼的に捉える態度や習慣」というのは、各教科の授業における学び合いや探究学習における地域や専門家の方など多様な人々との交流、さらには書物や新聞を通してより広い世界に目を向け、自分自身のものの見方や考え方を豊かにすることなどによって養っていくことができるのです。

今後は、インフルエンザなどの感染症に対する自分自身の「正常性バイアス」を解除することはもちろん、身の回りのいろいろなことに対して、みなさんは自分自身の主観にこだわりすぎることなく、他者の視点に立って物事を複眼的に捉えることを大切にしてください。

明日から始まる冬休みは、従来からの感染症防止対策をしっかりとりながら、この1年を振り返って自分自身を見つめ直し、新たな決意とともに新しい年を迎えてください。

今後の予定

- 12月28日(木) 学校閉庁日
- 12月29日(金)～1月3日(水) 休業日
- 1月4日(木) 学校閉庁日
- 1月9日(火) 始業式・課題テスト
- 1月13日(土)14日(日) 共通テスト
- 1月13日(土) 土曜授業・個別相談会
- 1月17日(水) 模試(1・2年)
- 1月20日(土) 土曜授業
- 1月25日(木) 土曜123授業
- 1月26日(金) 自宅学習 ※都立高校推薦に基づく選抜
- 2月7日(水) 合唱祭
- 2月10日(土) 土曜授業・1年保護者会



部活動の一覧は

こちらから！

個別相談会はこちらから！

- 日時：1月13日(土) 9:00～※授業日
- 対象：本校への受検を検討する
中学3年生と保護者(一組2名)
- 申込：受付中

皆さま

よい新年を

お迎えください！

